

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院薬剤部では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、この研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

調査対象となる期間： 2020年10月1日 ～ 2021年12月31日の間に、虎の門病院で入院前薬剤師面談を実施した周術期患者

### 【研究課題名】

周術期患者の入院前薬剤師面談による休薬指示補完頻度の後ろ向き調査

### 【研究の目的・背景】

#### 《目的》

入院前薬剤師面談による薬学的介入の実態を調査することで、医師による休薬指示を薬剤師が補完した頻度の高い薬剤を明らかにします。

#### 《研究に至る背景》

当院薬剤部では2020年10月より、手術目的での入院を予定している患者さんとの入院前薬剤師面談を開始しています。この面談では入退院支援業務の一環として入院前に患者さんの使用薬剤を把握し、術前に休薬の必要な薬剤を適切に管理することを目的の1つとしています。入院前薬剤師面談による休薬指示補完頻度の高い薬剤を提示できれば、休薬管理が原因の手術中止・延期のリスクが高い薬剤として対策を講じ、周術期医療の質を向上する体制を推進できます。

### 【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2022年7月29日 ～ 2024年12月31日

### 【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は薬剤部長、伊藤忠明の監督のもと研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃

棄します。

【利用する診療情報】

年齢、性別、手術手技、薬歴、入院前薬剤師面談により医師の術前休薬指示を薬剤師が補充した薬剤の件数と頻度、休薬管理が原因の手術中止の件数と原因薬剤

【虎の門病院における研究責任者】

薬剤部 ・ 伊藤忠明

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、または療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2022年9月15日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 薬剤部 ・ 伊藤忠明

電話 03-3588-1111(代表)